

# 趣 意 書

特定非営利活動法人 倉敷町家トラスト  
くらしきパートナーシップ推進ひろば  
株式会社地域協働推進機構 岡山支社  
倉敷市

## 『DONATION(どねーしょん) くらしき』事業

マルチステークホルダーによる災害復興支援の仕組みづくり

今回の東日本大震災に対して、倉敷市域のマルチステークホルダーによる震災復興支援をテーマに、住民主体の支え合い・助けあいの仕組みをつくり、新しい公共のモデルとしていくことを目的に、事業を実施する。

身近かつ緊急の課題を通じて、市民、団体が個別に活動する状況を脱して、テーマを横断した人のつながりで「公共をどう考えるのか？」という命題について考えながら、持続可能な支援モデルを創出する。また、地域の様々なステークホルダー（市民、行政、企業、NPO等の非営利組織等）の「協働の場づくり」を行うとともに、NPO等のパワーアップと新しい公共の担い手育成を行う。

事業で得られた成果が、災害復興だけでなく防災・災害対策や他の地域課題（子育て、環境、福祉、犯罪、地域間など）を解決する担い手や場になるよう発展させる。

※DONATION：寄贈・寄付の意

<内 容>

### 1 『DONATION くらしき』会議（仮称）の開催

東日本大震災の復興における、マルチステークホルダーが持つ「資源」と「思い」とが集り、連携する「協働の場づくり」を行う。行政、NPO、企業、教育機関など、様々な主体が、今回の震災で、どのような関わり方をしたのか（あるいは、したかったのか、したいのか）を模索する。2011年7月、10月、12月、2012年2月 開催予定。

### 2 復興支援プロセス調査・研究

復興支援に対して行った支援の成果と課題は何かを、各ステークホルダーに対して個別に調査する。具体的に行動できていないステークホルダーの支援したい思いや支援できる資源などの実状と、なぜ支援できない要因を調査し、具体的な解決の仕組みについて実証・検証する。また、被災地の復興支援の現状把握、ニーズ及び連携の可能性を調査する。

### 3 『DONATION(どねーしょん) くらしき』シンポジウム（仮）の開催

被災地の支援組織団体や学識者、市内の団体組織等を発表者として、復興支援の現状や課題、倉敷での今後の関わりなどについて、周知し、理解を深める機会を設ける。「『DONATION くらしき』事業」の成果報告と、事業や組織への参加協力を呼びかける。2012年2月開催予定。

### 4 コミュニティメディアを活用した、情報発信

「『DONATION くらしき』事業」の経過や成果の報告、関連情報（物資やボランティア募集など）やイベント（シンポジウム、講座）などの案内を番組内で行うほか、復興支援に取り組む倉敷の団体や組織の活動内容（実績、課題）や今後の予定、現地でのボランティア活動参加者のレポートなどの紹介、市民参加型（中高生や市民、企業、NPO等）での、防災ラジオドラマの番組企画・制作、放送を行う。

### 5 新しい公共の担い手とその支援者の育成・パワーアップ

復興支援、体と心の安心安全、寄附支援、事業継続支援などを目的に活動する組織や個人を対象に研修を行い、個々のスキル（地域資源を見つける力・つなぐ力、コミュニケーション力、ファシリテーション力、人を巻き込む力等）の向上を図る。

本件に関する連絡先

特定非営利活動法人倉敷町家トラスト 代表理事 中村泰典  
(事務局)  
株式会社地域協働推進機構 岡山支社 支社長 坂ノ上博史  
TEL：080-6309-6624 メールアドレス：okayama@coco-on.jp